

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.27 2008年6月23日

目 次

選挙告示	1	施設紹介	13
第8回総会報告	1	臨床こぼれ話	14
学術局	2	理事会等報告	15
私の地域勉強会	6	事務局	18
会長から	7	求人情報	20
委員会・作業部会	8			

選挙管理委員会から

選 挙 告 示

理事 笹本しづ江氏と山口真紀氏は、任期途中ですが一身上の都合により平成20年5月30日をもって退任されました。したがって、千葉県言語聴覚士会選挙細則に基づき、理事2名の補欠選挙を行いますので、立候補および推薦を受け付けます。選挙日程は以下のとおりです。

<選挙日程>

立候補・推薦受付期間：平成20年7月1日（火）～7月14日（月）（締切日の消印有効）
選挙公示：平成20年7月28日（月）
投票期間：平成20年8月12日（火）～8月18日（月）（締切日の消印有効）
開票日：平成20年8月22日（金）

* 正会員の方は同封の別紙をご覧ください。

第8回千葉県言語聴覚士会総会の報告

去る5月11日（日）に第8回千葉県言語聴覚士会総会が開催されました。会員の皆様のご協力により、議事を円滑に進めることができました。ご協力に感謝いたしますと共に、総会の概要をご報告いたします。

日 時：平成20年5月11日（日）13時00分～13時39分
場 所：千葉大学医学部附属病院 第3講堂
議 長：村西 幸代（君津中央病院）
副議長：岩本 明子（千葉労災病院）
書 記：久保木 晴香（ナーシングプラザ流山） 三原 芳絵（みつわ台総合病院）
会員数：303名 出席者：171名（当日参加39名、議長委任132名）

- .報告事項：1. 平成19年度活動報告
2. 平成19年度決算報告
3. 平成19年度会計監査報告
4. 千葉県言語聴覚士会則変更の報告

- .協議事項：1. 第1号議案 平成19年度活動報告に関する件
2. 第2号議案 平成19年度決算報告に関する件
3. 第3号議案 平成19年度会計監査報告に関する件
4. 第4号議案 平成20年度活動方針案に関する件
5. 第5号議案 平成20年度予算案に関する件

以上の件が提出され、賛成多数により承認されました。

学術局から

1. 第2回研修会のお知らせ

今回は、成人・小児・制度の3分科会での講演会を行います。皆様へのアンケート結果をもとに、いま話題のテーマを新しい企画で行います。“小児”は構音障害の臨床、“成人”は高次脳機能障害、“制度”は「障害のある人も共に暮らしやすい千葉県づくりの条例」を扱います。
なお、“制度”にはすべての方が参加可能な時間を設定しております。
皆様お説明の上、ぜひご参加ください。

*日 時：平成20年7月13日（日） 13時00分～16時40分

*会 場：千葉大学医学部附属病院 3階 講堂

*内 容： . 講演会 [13:00～15:00]

【第1会場】「講演 高次脳機能障害の基礎と実践的アプローチ」仮
講師 帝京大学ちば総合医療センター リハビリテーション科

医 師 竹内 正人 先生

【第2会場】「講演 こどもの構音障害の臨床」

講師 昭和大学医学部 形成外科学教室 言語聴覚士 木村 智江 先生

. 講演会 [15:10～16:40]

講演「障害のある人も共に暮らしやすい千葉県づくりの条例」

講師 毎日新聞夕刊編集部長

千葉県障害者差別をなくすための研究会座長 野沢 和弘 先生

*参加費：研修会費 会員・会友は500円、会員外1000円、学生500円

*申し込み：同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはmailでお申し込みください。

2. 第3回研修会のご案内

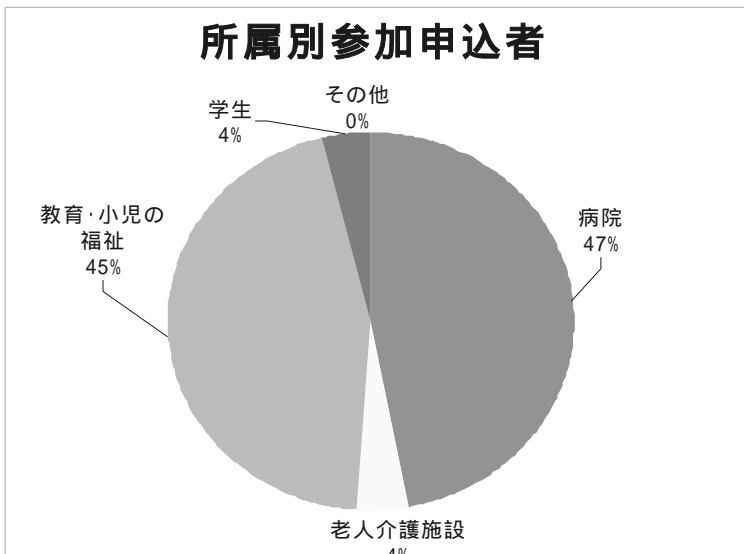
今年度は研修会を3回行います。第3回研修会は次の通りです。詳細は決まり次第、ホームページでお知らせします。

期 日：平成21年1月18日（日）
会 場：千葉大学医学部附属病院 3階 講堂（予定）
内 容：症例検討会
講 師：症例に合わせて講師を決めます。

症例検討会での症例発表者を募集しています。日頃の臨床で悩んでいる症例などありましたら、ぜひ発表してください。皆様の積極的な提案をお待ちしています。申し込みや問い合わせはホームページ、事務所へのFAX、郵送でお知らせください。

3. 第1回研修会報告

平成20年5月11日（日）に千葉大学医学部附属病院にて第1回研修会を開催しました。今回は、中川信子先生の講演を行いました。豊富な経験から、「人と人をつなぐことばやコミュニケーションをどう支えるか」のお話をいただきました。参加者は85名（会員52名、会員外33名）でした。研修会の概要と、アンケート結果の一部を紹介します。



<講演会の概要>

演題：「ことばとコミュニケーション～人と人をつなぐ言語聴覚士の役割～」

講師：子どもの発達支援を考えるS.T.の会 NPO法人ことのはサポート

言語聴覚士 中川 信子 先生

概要：

言語聴覚士の仕事の本質は専門性をもつ支援者であり一緒に歩く人である。治る・伸びるのは本人であり、当事者と支援者は「共同作業者」である。必要とされなくなることは最も喜ばしい別れの形である。そのための条件は 対象者の能力が向上して独り立ち、ご本人が「もはややれるだけやった」と満足できた、家族のサポートが得られる、安心な受け入れ先があることである。

私たちの出会いは、ことばを通じて、ことばを窓口として出会い、能力的に頭打ちでも「支えてもらった」との暖かい思いが残る一期一会でありたいし、心の中に宝物が残るような出会いであります。

人が生まれ、成長し、学び、働き、子どもを育て、病み、年老い、死に向かい年を重ねる場所が地域である。人は地域で暮らし、地域で生きる。地域とは“いつづけること”でたくさんの学びが得られる場所である。言語聴覚士の仕事は地域で生きることを大事にした取り組みであります。その地域での、直接的指導・訓練・相談、環境調整、言語聴覚士の存在に関する啓発活動が言語聴覚士の仕事である。

「臨床家」であることは、正解のない仕事である。中途半端さや先の見えない不安に耐える力が必要とされる。自分でできる範囲で最前を尽くすしかできない仕事でもある。そのため、ネットワークが大切になる。対人援助者は失敗の繰り返しだ。失敗に学ぶことで自分を磨く視点をもつことが大切であり、そうすることで、燃え尽きずに、長く良き支援者でいられる。

<アンケート結果>

回答者 31名

研修会に参加して とても良かった	35名
普通	2名
期待していた内容と異なった	1名

具体的に

- ・ ノウハウだけではなく、臨床家の心構えも聞けて良かった。
- ・ 先生の優しい人柄に魅かれました。「毎日仕事で人に親切にできる」「接客業」のことばが印象的でした。
- ・ 自分の未熟さを感じる日々ですが、つい技術の向上をと訓練技術ばかりに目が向きがちなので、もっと広い視野や周りや保護者の方との連携に意識を向けようと改めて感じました。
- ・ 一人の子どもをいろいろな人々が支え援助して“育んでいく”ことの大切さがとてもよく分かりました。先生のお人柄がよく分かる講演会でした。私も見習って日々努力していきたいと思いました。

感想

- ・ 保育士ですが、言語聴覚士についてとコミュニケーションの方法や大切さがわかりやすく、理解できました。講演の中にも保育士にも必要なつながりがあるのでぜひ活かしていきたいと思います。
- ・ 成人を扱う病院に勤務している為、小児の分野には普段関わりが少ないので、“コミュニケーション”に関しては患者様のみならず、他職種との関わりもとても大切だと改めて感じました。今日、伺ったお話を核にして“一緒に考える言語聴覚士”として活動していきたと思いました。
- ・ 「聴」=耳を心の窓にして聞く いつも心に止めて、これからも言語聴覚士として子ども達に接して行きたいと思います。初心に返ったひとときでした。
- ・ 「一緒に笑う」「息を吐いて、息を合わせる」という言葉がとても印象に残りました。今日の講演を聞いて、言語聴覚士として勇気がわいてくる講演だと思いました。

今後の研修会や県士会への意見

- ・ 発達障害についての実践報告や指導の仕方を知りたいです。

<研修会を終えて・・学術局より>

ことばのもつ意味や不思議さ、大切さを改めて感じるとても興味深い、感動的な講演会でした。「子どもを育てるには村ひとついる」「親御さんをまずは支える」「感謝される仕事」「接客業」「聴く」「一緒に考える言語聴覚士」等々臨床をする上で忘れがちな視点を再認識することができました。また、経験の浅い参加者には勇気をいただける講演もありました。他職種の方も共有できる「コミュニケーション」の話を聴きできたことは連携の視点からも私たちの財産になる講演会でした。

皆様の職場での明日からの取り組みの一助になれるよう願っております。

4 . 平成19年度学術局「研修会に関するアンケート」結果

学術局では、昨年度正会員・会友の皆様に対して、研修会に関するアンケートを実施しました。その集計結果をご報告します。

(1) 対象：2007年11月11日時点での正会員・会友全員

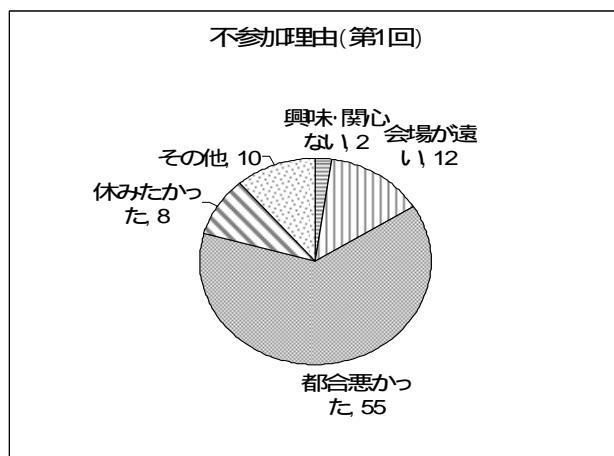
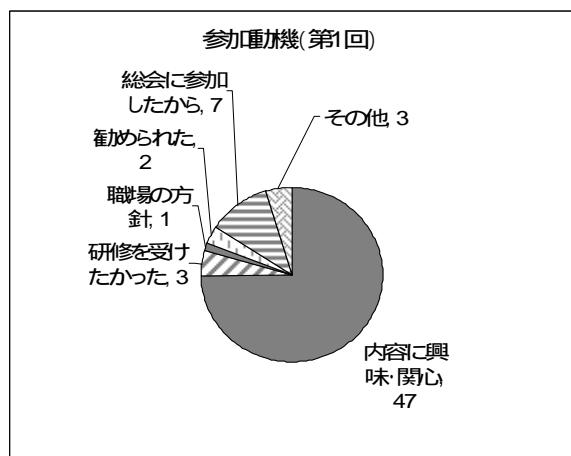
回収：340名へ配布し、146名から回収(回収率42.9%)

(2) 結果

1) 平成19年度の第1回～第3回研修会について

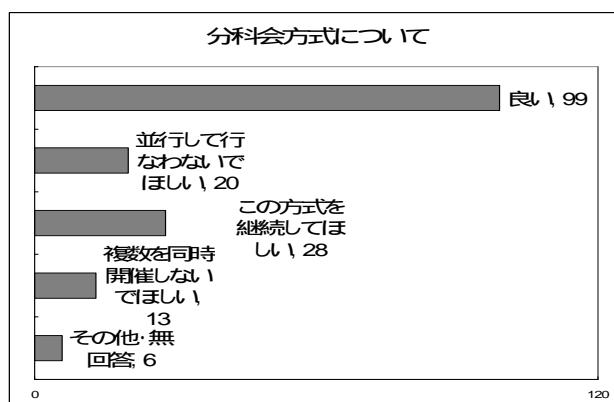
参加した動機では、第1回～第3回とも「内容に興味・関心があった」が最多であった。また、不参加の理由では、第1回～第3回とも「仕事もしくは私用で都合がつかなかった」が最も多かった。

「会場が遠かった」の回答も、不参加者の約1割にみられた。第2回では、参加したと回答した人の約3割が複数の研修に参加していた。



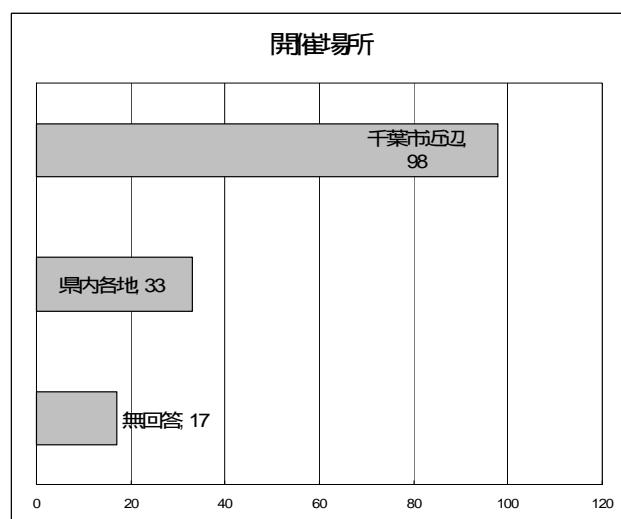
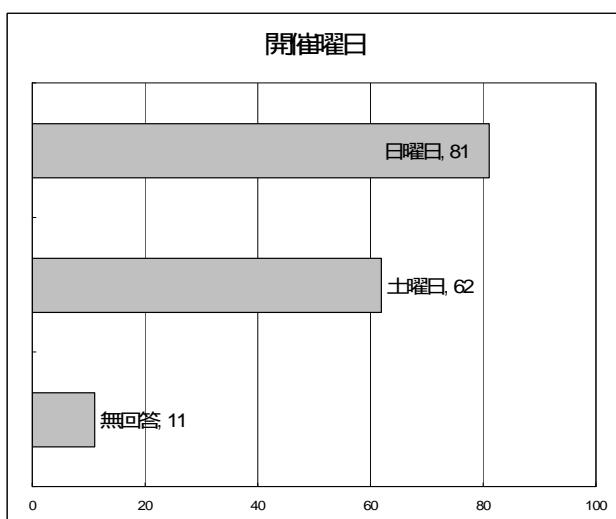
2) 研修会の分科会方式について

回答者の約7割が分科会方式を支持した。一方小児・成人の両分野に参加したいと回答したのは約1割と、支持に比べ少数であった。



3) 研修会の開催曜日・時間・場所の希望

曜日に関しては、「日曜日」が約5割、「土曜日」が約4割であった。時間は、「午前」と「午後」の回答ともに45%前後であった。「夜」は約1割にとどまった。場所は、「毎回千葉市近辺で」が約7割と、「県内各地で」の約2割を大きく上回った。



上記の項目の他にも、研修会でとりあげてほしいテーマ・内容の希望や研修会に関するご意見を多数いただきました。学術局では、皆様のご意見を参考にして、今後もより良い研修会の開催に向けて努めています。ご協力ありがとうございました。

5. 研修会ビデオの貸し出しと資料の送付

(1) ビデオの貸し出し

これまでに実施した研修会のビデオを貸し出しています。下記の要領でお申し込みください。

方 法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円分、2本390円分）を貼り、下記宛にお送りください。

宛 先：〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1

国立精神・神経センター国府台病院 四方田 博英

貸し出しビデオ：対象となる研修会の詳細は、ホームページをご覧ください

貸出期間：1ヶ月

* 貸し出しについての注意 *

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

(2) 資料の送付

希望者に研修会資料を配布しています。返信用封筒（A4サイズ）に住所、氏名を書き、200円分の切手を貼りお送りください。宛先はビデオ貸し出しと同様です。対象となる研修会についての詳細は、ホームページをご覧ください。

6. 「地域の勉強会」での症例検討会に参加しませんか？

会員の皆様のご協力により、各地域で勉強会が開催されています。同封の「小児多職種合同勉強会」及びホームページの「地域勉強会」をご参照の上ご参加ください。また、ホームページではこの情報について随時更新を行っていますので、ぜひご利用ください。

特集：私の地域勉強会

県内各地で行われている勉強会を順番に紹介しています。今回は、「北総特別支援教育研究会」です。

北総特別支援教育研究会

～～会の目的～～

- ・特別な支援が必要なお子さんの事例研究（特別支援学級、通級指導教室、通常学級などでの個別指導、学級週集団での指導を含む）
- ・学校内の特別支援教育体制の整え方についての研修
- ・検査法、指導法などの研修

* 通常の例会は事例研究等が主ですが、年に2～3回、講師を招いて、一般の教員向けの講演会を開催しています。特別支援教育を推進していく上で「通常学級でのお子さんの過ごし方も大きな割合で支援を考えていく必要がある」と会では考えているからです。

～～会員～～

- ・特別支援教育に携わっている方ならどなたでも。現在、知的、情緒、言語などの特別支援学級や通級指導教室の担当者、通常学級の担任、教育センターなどの指導員、幼児の施設などの指導者などが参加しています。

～～例会～～

- ・原則、月の第3土曜日 9：00～12：00 印旛教育会館にて
- ・6月14日(土)(注:第2土曜日です)「個別の指導計画の評価について」
- ・7月休会
- ・8月2日(土)9：00～16：00
中野良顯先生講演会(なかよしキッズステーション)
「学級の中で目立ってしまう子の対応の仕方を『ピアサポート』の手法を生かした方法で学びましょう」
応用行動分析の手法を学級経営の中で生かす方法の講義をいただく予定です。

～～参加申し込み・問い合わせ～～

北総特別支援教育研究会 hokusousens@aol.com ^

(北総特別支援教育研究会事務局 齊藤恵美子)

会長から

委員会・作業部会訪問報告

千葉県言語聴覚士会は三つの局の他、委員会や作業部会が理事会の目や耳、手足となって働いてくださることで成り立っています。昨年度後半より会長が委員会や作業部会にお邪魔して会議に参加させていただきました。委員や作業部員の活躍のご様子を順次ご報告いたします。

<組織検討委員会>

2月10日(日)午前9時から津田沼駅前の某所で組織検討委員会が開催されました。日曜日の朝から子連れの委員もいる中で、吉田委員長以下4名の委員により、新年度に向けて日本言語聴覚士協会との関係のあり方や新年度より設立する各専門委員会の会務内容について討議が行われました。経験年数の少ない委員もベテランも、異なる職場の状況を背景に多様な情報や意見を熱心に交換されていたことが印象的でした。それが今年度の新しい組織編成の基盤になっています。

<生涯学習プログラム基礎講座作業部会>

5月18日(日)午前10時から県士会事務所で、第1回の基礎講座作業部会が開催されました。まず塘作業部会長より、基礎講座千葉県版の開催に至った経緯と昨年度の作業の流れが説明され、その後今年度2回目となった2名の部員を中心に作業内容と役割分担が話し合われました。新部員も積極的に力を発揮してくださると確信できる会議でした。今年度の基礎講座も盛況のうちに開催できるのではないかと思います。



委員会から

新生児聴覚スクリーニング委員会

「新生児聴覚スクリーニング検査の手引き」配布後の実態調査アンケート結果

平成18年3月に千葉県健康福祉部母子保健課より、「新生児聴覚スクリーニング検査の手引き」が県内の関係機関に配布されました。配布後の関係機関における新生児聴覚スクリーニング検査（以下新スク）の実態について、平成19年12月にアンケート調査を実施したので、アンケート調査のまとめを報告します。対象機関は、手引きに掲載されている精密検査機関（7機関）と療育機関・教育機関（4機関）です。回答率は100%で、結果は次のとおりでした。

1. <対象：精密検査機関>

新スクを受け、平成18年4月1日～平成19年3月31日の1年間に精密検査を目的に各医療機関を受診した児について回答を求めました。

アンケート結果

表1 新スクの結果

結果	人数(人)	
両側 refer	47	50%
片側 refer	45	48%
不明	2	2%
計	94	100%

表3 初診時月齢

月齢	人数(人)	
1ヶ月未満	8	9%
1～3ヶ月	50	53%
4～6ヶ月	20	21%
7～12ヶ月	6	6%
13ヶ月以上	10	11%
計	94	100%

表5 診断結果

結果	人数(人)	
両側難聴	28	37%
片側難聴	17	22%
正常	31	41%
計	76	100%

表2 紹介元

	人数(人)	
産科・産院	70	75%
他医療機関	22	23%
療育・教育機関	2	2%
計	94	100%

表4 診断までの期間

期間	人数(人)	
初診当日	10	11%
半年以内	64	68%
7ヶ月以上	2	2%
精密検査中	18	19%
計	94	100%

新スク検査から精密検査機関で診断を受ける経過を表1～表5で示します。

新スク検査で、両側 refer 児は50%でした（表1）。精密検査機関に紹介され、37%が両側難聴、22%が片側難聴の診断を受け、計59%が難聴の診断を受けています（表5）。精密医療機関を受診した月齢は83%が生後1～6ヶ月までです。精密検査を受けた79%が6ヶ月以内に確定診断を受けています。

2. <対象：療育機関・教育機関>

療育・教育機関に平成19年10月末日在籍する新スク検査を受けた児について回答を求めました。

アンケート結果

表1 年齢別在籍児数と新スクで発見された人数

年齢	在籍児数(人)	新スクで発見された児(人)	
0歳児	22	15	68%
1歳児	36	17	47%
2歳児	48	16	33%
3歳児	15	3	20%
4歳児	18	6	33%
5歳児	17	6	35%

表2 新スクで発見された児の来所年齢

来所年齢	人数(人)	
0~2ヶ月	4	6%
3~5ヶ月	15	24%
6~8ヶ月	11	17%
9~11ヶ月	6	10%
1歳~1歳5ヶ月	5	8%
1歳6ヶ月~1歳11ヶ月	6	10%
2歳以上	16	25%
計	63	100%

表3 新スクで発見された児の紹介機関

紹介機関	人数(人)	
精密検査機関	40	59%
精密検査機関以外の医療機関	13	19%
保健所・保健センター	0	0%
他の療育・教育機関	9	13%
紹介無し(保護者が自分で調べて来所)	5	7%
その他	1	2%
計	68	100%

療育機関及び教育機関に在籍している児の中で、新スク検査で発見された児の割合が0歳～2歳児に多く見られます(表1)。新スクで発見された児のうち、57%が1歳までに療育・教育を開始しています(表2)。新スク検査で発見された児が療育・教育機関を訪れた経路は、59%が精密検査機関からの紹介ですが、41%は新スクで発見されたにも関わらず、精密検査機関から療育・教育機関へ直接紹介されていません(表3)。新スク検査で発見された児に対する療育・教育機関での支援体制は、児及び保護者に対して適切な支援が行われている現状が確認されました。

3. 関係機関から提案された課題

1) 確定診断前の支援について

新スク検査で早期に聴覚障害が発見される児が増えていることが分かりました。その中で、要再検査となった児は、確定診断を受けるまでの過程で、全員の児が支援を受けている現状ではありませんでした。確定診断前の支援体制が必要です。

2) 産科での対応について

産科にて要再検査の告知をするにあたり、保護者への配慮が必要です。

3) 精査機関での対応について

精査機関では、要再検査の告知後、できるだけ早期に確定診断を行う事と併せて、必要に応じて療育・教育機関に紹介することが必要です。

4) 新スク検査以外で発見される児について

手引きに記載されていない経路で発見される児についての支援への配慮が必要です。

4. 今後の課題

1) 確定診断前の支援について

新スク検査で早期に聴覚障害が発見される児が増えていることが分かりました。その中で、referとなった児は、確定診断を受けるまでの過程で支援を受ける機会はありませんでした。確定診断前の支援体制が必要です。

2) 産科での対応について

産科にて要再検査の告知をするにあたり、聴覚障害・療育について正しい知識を持ち、保護者への配慮が必要です。

3) 精査機関での対応について

精査機関の役割として、要再検査の告知後、早期の受診と確定診断を可能にし、必要に応じて療育につなげ、保護者の不安を軽減する支援体制づくりが必要です。

4) 新スク検査以外で発見される児について

手引きに記載されていない経路で発見される児についての支援への配慮が必要です。

~新委員会発足のお知らせ~

県士会では、分科会方式での研修会や公開講座など活動の拡大や、市民から寄せられる多岐にわたる相談に応じて、それぞれの分野でより専門性の高い情報の収集と提供が求められてきております。今年度より、専門分野別に以下の5つの委員会を新たに発足させ、それぞれの分野での情報収集や提供、関連機関との連携や支援体制の充実を図っていくことになりました。各委員会の活動は隨時ご報告させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

高次脳機能障害委員会・・・高次脳機能障害を中心に成人の言語障害全般も視野に入れた活動を行います。

小児言語障害委員会・・・昨年度までの特別支援教育委員会を発展させ、発達障害のみならず小児の言語障害全般を含めた活動を行います。

聴覚障害委員会・・・昨年度までの新生児聴覚スクリーニング検討委員会を発展させ、小児から成人にいたるまでの聴覚障害を対象とした活動を行います。

摂食嚥下障害委員会・・・摂食嚥下障害にかかる活動を行います。

介護保険委員会・・・介護保険や地域リハビリテーションの動向など維持期リハビリテーションにかかる活動を行います。

小児言語障害委員会

一昨年度発足した特別支援教育委員会の活動を引き継ぎ、平成20年度より小児言語障害委員会が発足いたしました。

今年度初めての活動として「こどものコミュニケーションを育てる外房のつどい」を開催いたし

ます。また、昨年度に引き続き「多職種合同勉強会」の地域での立ち上げの支援を行うとともに、発達障害リーフレットの配布、教育にかかる言語聴覚士の現状に関する情報の収集と提供を予定しております。情報収集に当たっては正会員の皆様を対象にアンケートを計画しておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

「こどものコミュニケーションを育てる外房のつどい」の案内状を同封いたしました。皆様のご参加をお待ちしております。

作業部会から

生涯学習プログラム基礎講座作業部会

「生涯学習プログラム 基礎講座」千葉県版開催のご案内

昨年度に引き続き、日本言語聴覚士協会の「生涯学習プログラム 基礎講座」の千葉県版を開催いたします。

日 時：11月23日（日）・12月7日（日）の2日間
会 場：千葉市民会館

日本言語聴覚士協会が設定する基礎講座（6講座）に加え、長澤泰子先生の千葉県独自の講座を1講座加えています。また2日間で全講座を習得できるように設定しています。

既に数件の問い合わせも来ています。申し込みは同封の案内状でお願いします。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

リハビリテーション公開講座作業部会

第2回 リハビリテーション公開講座のお知らせ

千葉県理学療法士会・千葉県作業療法士会・千葉県言語聴覚士会・千葉県リハビリテーション医学懇話会主催「第2回リハビリテーション公開講座」を開催いたします。

今回は「脳卒中のリハビリテーション」について医師、PT、OT、STがそれぞれの側面から脳卒中のリハビリテーションをわかりやすくお伝えします。一般の方の個人相談や高校生等の進路相談のコーナーも設けます。是非ご参加ください。

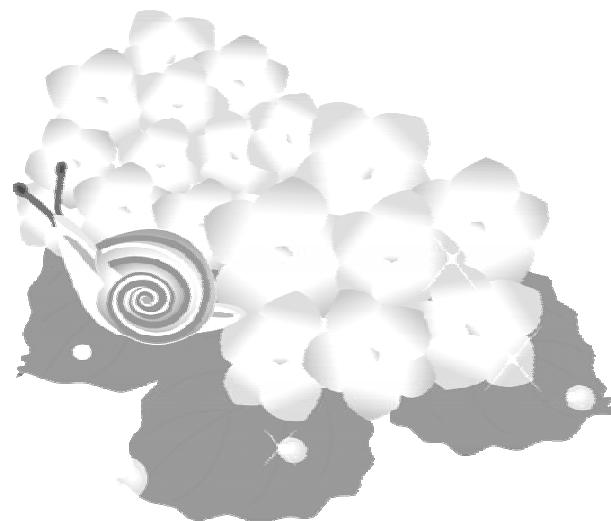
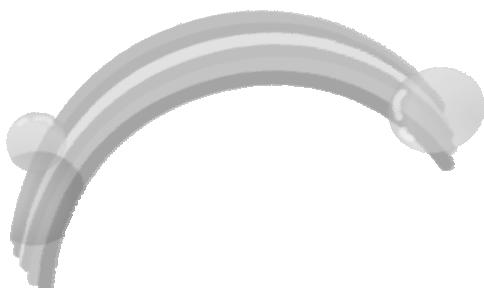
日 時 平成20年10月11日（土） 14：00～16：00
会 場 千葉市美浜文化ホール メインホール（JR京葉線 検見川浜駅 徒歩8分）
内 容 基調講演『脳卒中におけるリハビリテーション～急性期から維持期～』
千葉県千葉リハビリテーションセンター 吉永 勝訓 先生
シンポジウム『リハビリテーションでできること～各専門職から～』
千葉県言語聴覚士会代表として、千葉労災病院 岩本 明子氏を予定しています
参 加 費 無料

県民公開講座作業部会

第3回 千葉県言語聴覚士会県民公開講座

「県民みんなで考えよう 豊かなコミュニケーションを！！」をテーマに、一般の方を対象にコミュニケーション障害の理解と対応を考える催しです。今回は、日本耳科学会の理事長を務められます加我君孝先生をお招きして、加齢に伴う難聴から難聴児への支援や聴覚障害の最新治療である人工内耳までわかりやすくお話しいただきます。聴覚障害の臨床に深く携わる方から、今年の4月に入職した新人の方まで興味深く聞いていただける内容を検討しております。ぜひ奮ってご参加ください。一般の方を対象とした個別相談会も実施します。

日 時 平成20年10月5日(日) 午後1時～4時(午後0時開場)
会 場 千葉市民会館 小ホール
内 容 講演「難聴克服のための新しい医学 ~小児から成人まで~」
個別相談会
講 師 医師 加我君孝先生(国立病院機構東京医療センター・臨床研究センター長)
入場料 無料
申し込み方法 同封の申し込み用紙に必要事項を記入し、10月3日(金)までに郵送・電子メール・FAXでお申し込みください。
申し込み先(問い合わせ先) 君津中央病院リハビリテーション科内 言語聴覚室
〒292-8535 木更津市桜井1010番地
FAX: 0438-36-3867 電子メール: koukaikouza1@hotmail.co.jp



施設紹介

千葉県循環器病センター ······ S T 神作 晓美

当センターは県立7病院の一つで平成10年2月に開院し、地元では前院の「鶴舞病院」が通称となっています。市原市南部の来る方誰もが驚く山深い所ですが、市原、長生、夷隅地域の急性期及び地域医療を担っています。特に循環器系疾患(心・脳血管系)の急性期医療に力を入れており、リハビリテーション科(以下リハ科)対象者の多くは脳卒中急性期の方々です。

リハ科は科長の医師とリハ専門医(非常勤)PT3名、OT1名、ST1名と小規模ですが発症当日~数日以内に処方される患者様に早期リハを提供しています。定期的なカンファレンスで方針を決め、地域医療連携や在宅への支援にも力を入れています。療法士が少ない反面、救急患者様はほぼ毎日受け入れているため、個々の患者様に十分なリハが行き届かないこともあります。が、急性期を当センターで対応することで患者様の回復期~維持期が充実したものになるよう、日々努力しています。

近年の話題としては、平成16年度に脳卒中集中治療室(SCU)が、平成18年度に神内・脳外等のチームによる脳卒中診療部が開設され治療体制が整いました。さらに平成19年度、「脳卒中ケアユニット」が稼動しSCU後の治療・リハがスムーズになりました。最大のイベントは平成18年3月に「ガンマナイフ・リハビリテーション棟」が竣工し、それまでのリハ室では不備な点がほぼ解消され、リハ室を積極的に利用したサービス提供が可能になりました。患者様の早期離床というメリットがあるだけでなく、療法士側の意欲にも良い変化があったと感じています。開院後間もなく入職し様々な変化を経てきましたが、当初より職種間の隔たりが少なく相談しやすい雰囲気は変わりません。STだけ、療法士だけではその専門性を十分に発揮することはできません。これからも長く当センターでの業務にあたりたいと考えます。

〒290-0512 市原市鶴舞575

T E L : 0436-88-3111

千葉県千葉リハビリテーションセンター ······ S T 知念 洋美

JR外房線の鎌取駅からさらに南に下ると、車窓から旧式のソーラー電池の屋根と千葉リハビリテーションセンターの看板が見えます。千葉リハは母子入園8組を含む肢体不自由児施設「愛育園」64床、重症心身障害児施設「陽育園」60床、成人のリハビリテーション医療施設110床、肢体不自由者更生施設「更生園」56床の、医療と福祉が複合した施設になっています。

成人は亜急性期から慢性期の入院患者様がほとんどで失語症、運動障害性構音障害、嚥下障害、高次脳機能障害、聴覚障害、認知症など、さまざまな方が見えます。小児は0~18歳以上にわたり、脳性麻痺をはじめとした肢体不自由、知的障害、自閉症スペクトラム、聴覚障害などの重複障害や高次脳機能障害のお子さんが「愛育園」への入園、外来ともに多く見えます。

2001年から国の高次脳機能障害支援事業に参画し、2006年から千葉県高次脳機能障害支援普及事業として当リハセンターが支援拠点機関に指定されました。各機関との地域支援ネットワークの充実を図り、高次脳機能障害児者に対して適切な支援が提供される体制の整備をめざし事業を継続しています。

現在、スタッフの人数が約60名となったリハ療法部は、成人にシフトを置いた体制で臨床を行っています。ST科成人部門でも今後、より実用的なコミュニケーションの獲得を目指して「更生園」での言語・コミュニケーション評価、支援を拡大する予定です。また小児部門では乳幼児期はもちろん、就学期において2004~2006年に展開したAAC事業を継続する形で、PT、OT、ST、心理発達治療士、視能訓練士らで特別支援教育の体制へのコラボレーションを実践する構想を描いています。また卒業後の18歳以上の障害者の実態調査、および必要なサービスの提供も実現していく所存です。

〒266-0005 千葉市緑区誉田町1-45-2

T E L : 043-291-1831

臨床こぼれ話

~ 絵葉書の贈り物 ~

「これは、わたしのリハビリなんです。送らせてもらってもいいですか。」

Tさんが退院するときに私に残したことばです。

花の絵を描いて色をつけて、文章を書いて、もちろん直筆の住所と宛名。(右片麻痺なので左手で描いている様子)

毎月、1日に直筆の心温まる絵葉書が届きます。何とその数が100枚を越えました。

Tさんは今70歳代、脳梗塞で倒れたのは今から約7年前(私は臨床3年目でした)。右片麻痺と失語症を認め、私が初診でベッドサイドへ行ったときは名前がようやく言えるという状態でした。印象に残っているのは、私の顔を“じーー”っと、見つめ言っていることを理解しようと懸命に聞き入っている様子だったことです。病前は大手企業の顧問をしており教育担当の仕事をしていたとか。

Tさんのリハビリは目を見張るものがあり、言語能力は徐々に回復していました。こちらがある課題の説明をすると、その意図を自分なりに理解しわたしが説明した以上のことを考えながらリハビリに取り組んでくださいました。長文発話の課題で、「わたしはここへ(言語訓練室)来てしゃべることが仕事なんです。先生にいろいろ教えますから、聞いてください」というのです。テーマを決めておくと病室で考えてきてくださいり、自分の経験したことや考えなどをたくさん話してくださいました。

臨床3年目だったわたしは、家族のことから政治や株の話まで幅広くテーマを広げどんどん教えていただきました。

そして今、わたしは老人保健施設の勤務で利用者さんからいろいろなことを教えてもらっています。話の話題は戦争、仕事、育児、料理、結婚、農業、会社、政治・・・・・・話題のネタは尽きません。面白いぐらい人様々な意見があり、時には迷ってしまうことも・・・・(おかげで?!リハビリ室で育てている花には入れすぎなほど肥料が入れられ(入れ過ぎ!?) 毎年、立派に花が咲くのです!!)

いろいろ教えてくださる利用者さんたちですが、時には気落ちすることも・・・そんな時にTさんの絵葉書ファイルの出番です。約7年間分の絵葉書ファイルと額に入れてリハビリ室に飾ってある谷川岳の鉛筆画は、リハビリを受けている方やその家族、そしてリハビリのスタッフのことを激励しています。

努力すること、継続することの素晴らしい頭がさがります。

Tさんから、老健の方々から教わったことはすべて贈り物。この職業を続けていき、時には励まし教わりそれを言語訓練に生かすことで恩返しをしたいと思っています。

筑波学園病院(介護老人保健施設 そよかぜ) 鈴木 絵美子
つくば市上横場2573-1 電話番号:029(836)0517



理事会・委員会等報告

平成19年度 理事会

第11回

日時：2008年1月6日（日）10：03～13：25 場所：千葉市黒砂公民館 会議室

出席者：宇野、斎藤公人、斎藤敬子、畠山、山口、山本（以上理事6名）久保木（書記）

塘（生涯学習プログラム基礎講座作業部会）長谷川（特別支援教育委員会）野島（県民公開講座作業部会）

1. 協議事項

（事務局より）・新入会員等 ・第10回理事会議事録 ・新組織の検討（委員候補の選定）・会則改定

・千葉県健康福祉部障害福祉課への意見書検討 ・会費値上げ

（学術局より）・平成20年度第1回研修会計画、案内 ・今年度の反省と次年度計画

・平成20年度年間研修会計画 ・名簿の取り扱い ・研修会アンケート結果

（特別支援教育委員会より）・今年度の反省と平成20年度計画

（生涯学習プログラム基礎講座作業部会より）・平成20年度基礎講座千葉県版実施計画案

・協会主催講師養成研修会参加候補の検討 ・今年度の反省と次年度の計画

（県民公開講座作業部会より）・今年度の反省と次年度の計画

2. 報告事項

（事務局より）・到着郵送物 （学術局より）・第4回議事録

（生涯学習プログラム基礎講座作業部会より）・第4回議事録

（特別支援教育委員会より）・第6回議事録

・千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課 課長 加藤哲先生訪問の報告書

・第3回教育にかかわる言語聴覚士と特別支援教育委員との情報交換会議議事録

第12回

日時：平成2008年2月24日（日）9：06～11：57 場所：千葉市黒砂公民館 会議室

出席者：宇野、斎藤公人、斎藤敬子、斎藤順子、畠山、山本（以上理事6名）

竹中（監事）野島（学術局）三原（書記）

1. 協議事項

（事務局より）・第11回理事会議事録 ・新入会員 ・求人情報ホームページ掲載

・千葉県介護支援専門員協議会への代議員派遣 ・平成20年度県士会ニュース発行回数

・決算途中経過と来年度予算 ・総会議案書作成手続き ・会則第2条改訂

・新組織の検討（局員・部員・委員候補の選定） ・山口理事の辞意表明

（学術局より）・研修会参加費の徴収業務に関する学術局意見 ・第5回議事録 ・第1回研修会のお知らせ

・第2回研修会の講師・内容

（社会局より）・県士会HPからの申し込み転送方式 （県民公開講座作業部会より）・次年度の計画

2. 報告事項

（事務局より）・到着郵便物 （社会局より）・渉外部活動報告と反省 （組織検討委員会より）・第4回議事録

（新生児聴覚スクリーニング検討委員会より）・第5回～第7回議事録

・千葉県における新生児聴覚検査及び聴覚障害児の早期支援体制の実態調査

（特別支援教育委員会より）・千葉市発達障害者支援センター訪問 ・千葉市多職種合同勉強会の立ち上げ

（リハビリテーション公開講座運営委員会より）・第3回議事録

第13回

日時：平成2008年3月9日（日）9：04～12：19 場所：千葉市黒砂公民館 会議室

出席者：宇野、斎藤公人、斎藤敬子、斎藤順子、笠本、畠山、山本（以上理事7名）酒井（書記）

1. 協議事項

（事務局より）・第12回理事会議事録 ・入会届など ・求人情報ホームページ掲載 ・新委員会活動計画案

- ・来年度人事 ・総会議案書活動報告 ・会費に関する細則第2条の改定 ・広告に関する細則第3条の改定
 - ・事務所に関する細則第6条改定 ・事務所に関する細則第6条改定 ・分掌既定第5条の改定
 - ・退会該当者確認 ・総務部活動計画 ・決算途中経過と来年度予算 ・編集部活動計画
 - ・ニュース発行に関する業者委託
- (学術局より)・次年度研修会アンケート ・第3回研修会 ・活動計画
- (社会局より)・涉外部活動計画 ・広報部活動計画
- (実態調査委員会より)・実態調査委員会調査報告の発表形式 (特別支援教育委員会より)・活動計画
- (新生児スクリーニング検討委員会より)・活動計画 (組織検討委員会より)・活動計画
- (県民公開講座作業部会より)・県の後援申請書類
- (リハビリテーション公開講座作業部会より)・平成20年度予算

2. 報告事項

- (事務局より)・到着郵送物など (学術局より)・第4回研修会 ・千葉地域多職種合同勉強会の立ち上げ準備会
(県民公開講座作業部会より)・第4回議事録 (実態調査委員会より)・実態調査委員会活動報告
(リハビリテーション公開講座作業部会より)・第4回リハビリテーション公開講座運営委員会
(生涯学習プログラム基礎講座より)・平成20年度生涯学習プログラム基礎講座千葉県版平講師日程表

平成20年度 理事会

第1回

日時：平成2008年4月6日(日)9:14～11:48 場所：千葉市黒砂公民館 会議室

出席者：宇野、斎藤公人、斎藤敬子、斎藤順子、笹本、畠山、山本(以上理事7名)

　　武田(監事) 竹中(監事) 内山(書記)

1. 協議事項

- (事務局より)・平成19年度第13回理事会議事録 ・新入会員など ・来年度人事
・総会日程、総会議案書、総会出欠届確認 ・総会議案書事業報告、活動計画確認 ・細則、分掌既定改正確認
・平成19年度決算報告、平成20年度予算案確認 ・総会スケジュール、役割分担、台本 ・退会該当者確認
・求人に関するメール承認手続き ・ニュースNo.27構成案 ・千葉リハ公開講座協賛
・日本摂食嚥下リハ学会後援 ・千葉県介護支援専門員協議会への代議員派遣
(学術局より)・研修会における参加費の範囲 (県民公開講座作業部会より)・予算
(生涯学習プログラム基礎講座作業部会より)・平成20年度生涯学習プログラム基礎講座案内状

2. 報告事項

- (事務局より)・到着郵送物など ・第2回編集部会議議事録
(新生児スクリーニング検討委員会より)・第8回、第9回議事録 ・アンケートまとめ ・情報交換会議事録
(その他)・平成19年度第1回、第2回千葉県地域リハビリテーション協議会

3. 監査

平成19年度 事務局

第2回 編集部会議

日時：2008年3月13日(木)20:37～21:17 場所：千葉県こども病院

出席者：五十部、斎藤、高橋、守田(以上4名)

- ・編集部内作業分担 ・発送作業業者委託 ・平成20年度活動計画 ・総会議案書等発送

平成19年度 社会局

第2回 広報部会議

日時：2008年2月17日（日）10：00～12：00 場所：高洲コミュニティセンター

出席者：荒木、大石、加藤、斎藤、相楽、山川（以上6名）

- ・平成19年度の総括
- ・平成20年度事業計画

平成19年度 学術局

第5回

日時：2008年1月27日（日）17：30～19：30 場所：千葉大学医学部附属病院 3階 第3講堂

出席者：大足、大浦、神作、木下、田野、長岐、野島、宮下、山口

（委任状出席）日下、 笹本、 羽山、 前里、 前田、 四方田、 寄本（以上局員14名、理事2名）

- ・理事会報告
- ・第4回研修会反省
- ・理事会報告を受けての協議事項
- ・次年度研修計画

- ・学術局今年度決算、次年度予算案検討
- ・第1回研修会計画確認

平成19年度 新生児聴覚スクリーニング検討委員会

第5回

日時：2007年10月21日（日）10：00～12：00 場所：千葉市療育センター 第3・4会議室

出席者：岡田、佐藤、高橋乃理夫、高橋典子、本宮、丸橋（以上6名）

- ・理事会出席報告
- ・アンケート内容検討、締め切り、宛先
- ・今後の予定
- ・関係機関情報交換会
- ・ミニタウンミーティング

第6回

日時：2007年11月25日（日）10：00～12：00 場所：千葉市療育センター 第3・4会議室

出席者：岡田、荻洲、佐藤、高橋典子（以上4名）

- ・新生児聴覚スクリーニング検査実態調査のアンケート
- ・アンケート調査の今後の日程
- ・新スク実態調査結果集計
- ・関係機関情報交換会

第7回

日時：2008年2月10日（日）10：00～12：00 場所：千葉市療育センター 第3・4会議室

出席者：岡田、荻洲、佐藤、高橋乃理夫、高橋典子、丸橋（以上6名）

- ・アンケート集計結果

第8回

日時：2008年2月24日（日）10：00～12：00 場所：千葉市療育センター 第3・4会議室

出席者：岡田、高橋乃理夫、高橋典子、丸橋、本橋（以上5名）

- ・決算報告
- ・平成20年度委員会
- ・精密検査機関アンケート結果
- ・療育機関アンケート結果
- ・情報交換会

第9回

日時：2008年3月9日（日）13：00～15：00 場所：千葉市療育センター 第3・4会議室

出席者：岡田、荻洲、佐藤、高橋典子、本宮（以上5名）

- ・平成19年度活動まとめ
- ・平成20年度委員会活動
- ・会計報告

平成19年度 組織検討委員会

第4回

日時：2008年2月10日（日）9：00～11：00 場所：ロイヤルホスト津田沼店

出席者：宇野（会長） 平山、鎌田、山本、吉田（以上5名）

・理事会報告 ・日本言語聴覚士協会と都道府県士会との関係 ・県士会の組織検討

・今年度の反省点と次年度活動 ・県士会への提案、要望

平成19年度 県民公開講座作業部会

第4回

日時：2008年3月2日（日）13：30～15：30 場所：千葉県言語聴覚士会事務所

出席者：石田、宇野、岡田、金子、斎藤（公） 野島、藤田、古川、村西（委任状出席）秋山、遊佐、四方田
(以上12名)

・次年度講師及び日程報告 ・平成20年度県民公開講座運営事項 ・新作業部員の役割

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

事務局から

1. 入会のお誘い

当会に入会されていない方は、ぜひご入会くださるようお願い申し上げます。入会ご希望の方は、ホームページにても入会方法をご案内申し上げておりますのでご覧ください。また、お近くに未入会の言語聴覚士の方がいらしたら、入会をお勧めくださいますようお願い申し上げます。

2. 年会費納入のお願い

平成20年度分の年会費のお支払いにつきよろしくお願いいたします。現金にての受付は総会開催日のみとなっております。年会費の納入はなるべく郵便振替をご利用いただきますようご協力を願いいたします。（振替先：ゆうちょ銀行 00120-6-39932 千葉県言語聴覚士会）

また、平成19年度分の年会費をまだお支払いでない方は、至急お振込みくださいますよう、お願いいたします。本会の会則により、2年以上会費未納の場合、退会とみなされますのでご注意ください。

3. 住所・勤務先変更届けについてのお願い

住所や勤務先など、入会時にされた登録内容に変更があるときは、お手数ですがなるべく速やかに、事務局まで郵便またはFAXにてご報告くださいますようお願いいたします。変更届は会のホームページよりダウンロードすることもできます。会よりの郵便物がお手元に届くのが遅れるなど不都合がございますので、ご協力をお願いいたします。

4. リーフレットの配布

千葉県言語聴覚士会のリーフレットを所属施設に置きたい、研修会などで配布したい等のご希望がありましたら、必要部数と連絡先を明記し、事務局までお申し込みください。追ってご連絡いたします。また県士会ホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。

5. 新入会員のお知らせ（敬称略）

会員数：正会員303名・会友45名・賛助会員：6団体+1名

（平成20年5月11日 理事会承認分まで）

…正会員…

安部 尚文（山王病院） 安島 明子（旭神経内科リハビリテーション病院）

猪股 由華（千葉県千葉リハビリテーションセンター） 工藤 芳幸（東京都立東部療育センター）

佐藤 くみ（ゆざ耳鼻咽喉科サージセンター） 山本 小緒里（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

渡辺 好香（四街道德洲会病院）

編集後記：梅雨に入り、じめじめした日々が続いています。

雨が続いたあの「晴れ」は、いつも以上に気持ちのいいものですね。

気分転換に散歩にでも行きませんか。

事務局

〒263-0023 千葉市稻毛区緑町2-1-9 103号室

TEL/FAX：043-243-2524

E-mail：chibakenshikai@zp.moo.jp

ホームページ：<http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード：affordance



求人情報

詳細は千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧ください。

(2008年6月8日現在)

医療法人社団 再生会 介護老人保健施設わかくさ

募集：常勤又は非常勤の言語聴覚士 2名

内容：入所者、通所者の言語リハビリテーション

(失語症、構音障害、摂食、嚥下障害、高次脳機能障害等)

富津市上335-1 電話：0439-80-5678

担当：事務長 本山

我孫子市つくし野病院

募集：言語聴覚士 非常勤 1名

内容：デイケア個別言語訓練、外来・入院成人言語訓練

(失語症、構音障害、嚥下障害、高次脳機能障害等)

〒270-1164 我孫子市つくし野131-1

電話：04-7184-2211 担当：事務長 飯田

国保匝瑳市民病院

募集：言語聴覚士 1人

内容：病院および施設での言語聴覚業務

〒289-2144 匝瑳市八日市場イ1304番地

電話：0479-72-1525 担当：庶務班 今井

財団法人天翁会 新天本病院

募集：言語聴覚士 常勤 1名

新卒(平成20年度3月卒業見込み者)・既卒

〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-1

電話：042-310-0370(田上直通)

担当：リハビリテーション科 田上幸子

千葉新都市ラーバンクリニック

募集：言語聴覚士 非常勤 1名(経験者希望)

内容：主に成人対象の言語リハビリテーション(失語症、

構音障害、摂食・嚥下障害、高次脳機能障害等)

〒270-1337 印西市草深138

電話：0476-40-7711 担当：総務 安藤

医療法人社団 葵会

介護老人保健施設 葵の園・はまの

募集：言語聴覚士 常勤または非常勤(パート)

内容：入所者、通所者の失語症・嚥下障害等の機能訓練

千葉市中央区浜野町423番地1 電話：043-209-7117

担当：事務長 増田

医療法人社団 上総会 山之内病院

募集：言語聴覚士 常勤 1名

内容：成人(失語症、構音障害、摂食・嚥下障害、高次脳機能障害)

〒297-0022 茂原市町保3番地 電話：0475-25-1131

担当：リハビリテーション課 ST 小野

医療法人社団ますお会 柏の葉北総病院

募集：言語聴覚士 常勤(経験者優遇)

内容：成人の言語障害、摂食・嚥下障害等の臨床

〒193-0942 東京都八王子市鶴田町583-15

電話：042-661-4108(代) 担当：リハ部 下平、東川

医療法人社団ますお会 柏の葉北総病院

募集：言語聴覚士 常勤 若干名(新卒者・既卒者問わず)

内容：成人の言語障害(失語症、構音障害、摂食・嚥下障

害、高次脳機能障害等)

〒270-0113 流山市駒木台233-4

電話：04-7155-5551 担当：総務課人事採用担当

医療法人財団 東京勤労者医療会 東葛病院

募集：言語聴覚士 常勤 若干名（既卒、新卒問わず）

内容：成人対象の言語リハビリテーション（失語症、構音障害、嚥下障害、高次脳機能障害等）

〒270-0174 流山市下花輪409

電話：04-7158-8710（直通）

担当：リハビリテーション室 課長加川（かがわ）

塩田病院

募集：言語聴覚士 常勤（新卒者、経験者（5年位まで））

内容：成人（失語症、構音障害、嚥下障害、高次脳機能障害）

〒299-5235 勝浦市出水1221 電話：0470-73-1221

担当：リハビリテーション科 ST 斎藤